

令和6年5月7日

山県市教育委員会 教育長 様

第 1 回学校運営協議会報告

山県市立大桑小学校

校長 杉山 正高

このことについて、次の通り報告します。

1. 実施日時 令和6年4月30日(火) 午前9時30分～午前 11 時10分

2. 出席者 学校運営協議会委員(別紙資料 p.1 参照。加藤委員、日置委員は欠席)

3. 内容

- 委嘱式
- 授業参観
- 挨拶 学校運営協議会 会長 および 学校長
- 本年度の教育活動について
- 学校応援団本部の活動
- 会則について
- 意見交流
- その他

4. 検討事項

- 本年度の教育活動について(別紙資料 p.5～p.8)
 - ・学校長から学校経営方針について、教頭から年間の主な行事についてプレゼン説明・提案し、承認された。
- 学校応援団本部の活動について(別紙資料 p.10)
 - ・学校長から学校応援団本部の活動について説明・提案し、承認された。
- 会則について(別紙資料 p.11～p.16)
 - ・第 3 条 4にもとづいて、会長及び副会長の指名を行い、承認された。
 - ・第 8 条に係る学校運営の基本方針等については、本年度の教育活動について説明し承認とされた。
- その他の内容
 - ・今年度も学校応援団ボランティアを募ることについて、承認された。(別紙資料 p.17～p.18)
 - ・今年度の学校運営協議会について、第2回目を9月24日、第3回目を2月に行うことが承認された。
 - ・次回の学校運営協議会においては、事前に傍聴希望者について、学校便りやホームページにて案内することを確認した。
 - ・運動会前の PTA 環境整備を 5 月12日(日)午前8時30分から実施することに決定した。PTA 会員、児童も参加することについて「スマート連絡帳」で呼びかけ、協力を得ることを確認した。また、学校運営協議会委員様、自治会3役(15名)にも協力の依頼をした。

5. 各委員からの意見等

(土岐委員)

- ・子どもが一生懸命に、助け合い、和気あいあいとした雰囲気を感じた。

(土田委員)

- ・運動会に向けての話し合いをしていた。先生の「最高学年として頑張ってもらいたい」という熱い思いがあった。自分のことだけでなく全校のみんなのことを考え考えようとしていた。
- ・「すぐー」から「スマート連絡帳」に変わった。学校の情報がよく分かったので「スマート連絡帳」も登録したい。

(西村委員)

- ・自分の思いがあってもなかなか言葉が出てこない子に対して、先生と子供の掛け合いが良かった。
 - ・高学年では、ついてまわりの運動会から自分たちで進める運動会にしようとしていた。
 - ・子供が減っている。これを逆手にとって6年間の教育課程で力を付けるとよい。複式では、A年度、B年度「わたり」を行うなど、これらを組み合わせて教育課程を見直すことが必要になる。同時に、自分たちで学習できるようにしていかなければいけない。学び方を学ばせることも必要である。
 - ・子どもが口を開けて待っている状況から、必死になって学ぶ姿へ転換する。社会に出たときに「学び方」を学んでいないと、呆然としてしまう。山口市全体の問題である。
 - ・地域ボランティア、コラボレーション事業をぜひ、進めてください。子が育つだけでなく地域も育つ。学校に地域を呼び込む「ふるさと学習室(ヒストリアム)」への期待がある。
- 学校からは、ジオラマ展示の協力について、依頼を地域から出していただけるようお願いした。

(松影委員)

- ・1・2年生の体育では、頑張って走っていた。
- ・3・4年生は、はさみを上手に使っていた。
- ・5・6年生は、運動会に向けての話し合いをしていた。地域の方が参加できる種目があることをPRしてください。
- ・一乗小との交流の時には、「ふるさと資料室」にジオラマを持ってきて地域の方にも広めるとよい。

(矢島委員)

- ・子供の数が減ることは仕方がない。その中で、子供が未来に対して対応できる子を育ててほしい。
- ・地域の協力・・・自治会も協力させていただく。

(武藤委員)

- ・今後の大桑小、梅原小、桜尾小の子供の数を教えてください。若松学園の児童も減っている。大桑小の児童数は36名(R6年度)である。「山口市が消滅する」といった記事が出ていた。学園の職員もがんばって協力していく。

(若松学園柏木園長)

- ・みんなが元気に学校へ行っている。先生方は、子どもの居場所をつくってくださっている。そして、良さを引き出す指導をしてくださっている。
- ・生活指導が必要な子が多い中、学校に迷惑をかけている。学園でクールダウンして落ち着いてから学校に行かせるようにしている。

(PTA 会長)

- ・挨拶ができる人に。大人になってもとても大切なことである。

(その他)

- ・PTA の奉仕作業についてお茶と草刈機の燃料代を出してほしい。
ボランティアの人がお茶はそれぞれ持ってくればよい。(武藤委員より)
- ・卒業生の中村さんが「おーいお茶」の俳句選考の2次選考に選ばれた。結果は10月に出る。いろいろなことに挑戦して、それが自信になればよい(杉山校長)

6. 添付資料

- ・第1回学校運営協議会資料